



～ 春、旅立ちの春 ～

今年も早くも3月を迎え、新年度に向けての活動や行事があり、大人も子どもも「いつもと違う」日が増える月でもあります。

程度の差こそあれ、「いつもと違う」日に対して少々不安を持つことは誰にでもあります。そんな日々を「いつものように」乗り越えて少しずつ成長していくのだらうと思えます。

まごころでは今年も卒業していく子達がいまいます。もう18歳を迎えているので、ニックネームで呼ぶのも考えますが、急に呼び方を変えるのもお互い変な感じ…なので、時折呼び方に「〇〇ちゃん」ではなく、「〇〇さん、〇〇君」を混ぜて自然に呼び、呼ばれるように…。

当然ながら突然大人になるわけではなく、相変わらずスタッフや友達と小さい頃と変わらないような遊び方をすることもありますが、ふと見せる相手を気遣う言い方や、周囲の友達に対してのやさしい態度に成長を感じ、うるうるしてしまうこともしばしばです。

「成長は螺旋階段のように」と何かで読んだことがあります。ずんずん上がる感じは少なくても、下を見たらいつの間にか上れているというような。でも下なんか見なくても、上っているね～と伝えられて、こちらもわずかでも一緒に成長していきたいな～と思っています。

またお会いするときにとても楽しみです。
新しく旅立つ人たちへ幸多かれ！



デイサービス通信



うれしいひな祭り

ひな祭りの前日、デイサービスで昼食の『菱寿司』を利用者さんと手作りしました。

牛乳パックを使って、春らしい押し寿司にしました。緑色は酢飯に青のりを混ぜ、白色はしらすを混ぜ、桃色は鮭フレークを混ぜ、その上に錦糸卵をちらし、海老と絹さやをトッピング・・・型にした牛乳パックを引き抜いて「ワーきれい！」と歓声があがります。皆で作った『菱寿司』は格別の味わいで、いつもより多めのご飯なのに皆さん完食されました。

午後のおやつ作りは、関西風の『桜餅』。道明寺粉を使い、桜葉までおいしくいただきました。

まだまだ現役主婦の利用者さんもみえますが、食事作りやおやつ作りは馴染みやすく、皆さん積極的に関わって見えました。

広場では、皆で協同制作した『桜花の吊るし飾り』で彩り、満開の桜が咲き乱れています。



心つれづれ



「計画相談支援」について

障害者相談支援事業所いまいせの間瀬哲也と申します。この度、一宮まごころさんから、「心つれづれ」への寄稿のご依頼を受けまして寄稿させていただきました。

私は、『計画相談支援』にかんする仕事をしています。具体的には、サービス等利用計画・障害児支援利用計画を作ったり、計画を作成した後にモニタリングという作業を通して立てた計画がうまくいっているのかを確認したりしています。

制度の改正によって、障害福祉サービスや障害児通所サービスを利用される場合には、サービス等利用計画・障害児支援利用計画書というものが必要になりました。以前から障害福祉サービス等を利用していた方には、「計画なんて必要なかったのにどうして？」と思われる方も多かったことでしょう。

この“計画”によって、①生活する上でのさまざまな苦労や困難に対して計画に基づいて複数のサービス等の調整を受け一体的・総合的に支援を受けることで、利用者のニーズに基づく本人中心の支援を受けることができる、②いろいろな事業所がサービスを提供するにあたって支援者全員が同じ方向を向いて生活の応援ができる、メリットがあります。

利用者さんが自分の希望する暮らしを“計画”というツールを用いて実現するべく、利用者さん及びご家族さんとともに一緒に考えさせていただければと思います。

なお、『計画相談支援』をおこなう事業所は、一宮市内外に何か所かあります。どうぞ宜しくお願いいたします。

障害者相談支援事業所 いまいせ
相談支援専門員 間瀬 哲也

ヘルパーだより

NO. 34

平成 15 年 9 月より、入浴介助のケアを行っていた自閉症の A さんも、今年 31 歳になります。昨年よりショートステイへ通われるようになり、お泊りができるように徐々に慣れていく練習をされ、連泊もできるようになりました。そして 1 ヶ月間の入所体験後、施設に入所されることになりました。

在宅ではもうヘルパーが利用できないとのことで、少し寂しくなりましたが、移動支援の利用は継続できるそうで、施設から帰って見える土曜日には「アクア・トトぎふ」へ行くケアを続けられることになりました。

A さんは話すことができないので、何をしたいのか時々分からないことがあり、大声で騒いでしまうことがあります。「アクア・トトぎふ」の入り口で、スタッフにパスポートを見せて少し中へ歩いて行くとエレベーターが 3 台あります。最近ではこだわりが強く、その一番手前のエレベーターにしか乗ることができず少々待つことも。さらにエレベーターを降りた先には記念撮影のスタッフがいるため、混雑時には待ち時間ができてしまい A さんはイライラ。そこを通り過ぎると、淡水魚やカワウソなどを見ては楽しそうに指で追われ、帰りに必ず記念スタンプを用紙に押しもらって帰られます。そのほかには食べることも楽しみの一つようです。

春になりもう少し暖かくなれば、足を伸ばして「オアシスパーク」の方へ歩いてみたいと思っています。



ご家族からのことば・・・

わがままな行動を止める手段無く大変ですが、ヘルパーさんには意外と従順です。これからも助けてください。よろしく願います。